



## 「全国学力・学習状況調査の分析から・・・」

猛暑が少し和らいだとはいえ、まだ昼間は気温が高いなかでの体育大会の練習はきついものです。陸上競技大会や体育大会予行では、「全力燃笑～学年の壁をこえた絆を～」のスローガン通り、一生懸命に頑張っている山陽中生が時々見える笑顔は素敵です。明日に開催される体育大会でも、競技も大会運営も、昨年よりもさらに生徒主体のパフォーマンスを期待しています。どうか多くの地域の方々や保護者の皆様にお越しいただき、本校生の頑張っている姿を観覧していただければ幸いです。

さて、9月初めに4月18日(木)実施の全国学力・学習状況調査(以下、学テ)結果を3年生各自に返却しました。その際、具体的に国語・数学の平均正答率(数値)については触れませんでした。昨日の神戸新聞(9/30朝刊)に、姫路市教育委員会が学テの市立小・中学校の平均正答率を公表した記事が掲載されていました。以下に本校の学テ調査結果について報告します。

本校の国語・数学の平均正答率は、全国や兵庫県の数値と大きな差は見られません。国語はほぼ同じで、数学は少しそれを上回っています。ただし、国語の正答率はここ近年における本校の数値のなかでは、最もよい結果が出ていました。

また、設問内容別でみると、国語は、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を問う設問において、国・県の結果とほぼ同じです。数学は、「数と式」「関数」「データの活用」領域の設問では、若干、国・県の結果を上回っています。また「図形」領域の設問では、ほぼ同じ結果でした。しかし、自分の考えを記述して回答する「思考・判断・表現」を問われる問題では、依然、国や県、姫路市の平均よりも無回答率が高いのが本校の課題です。

一方で、生徒質問紙については、肯定的な回答が、国・県の結果よりも上回っていたものが、以下の(1)～(4)の質問事項における内容です。

### (1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- ・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

### (2) 学習指導

- ・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか※週1回以上の割合。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

### (3) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。

### (4) 地域や社会に関わる活動の状況等

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

本校は、ファシリテーション(FT)の手法を教科の授業だけでなく、様々な教育活動に取り入れています。ICT機器やシンキングツールなどを活用し、授業や学活などで、生徒同士が対話する活動が定着してきました。そのような状況を裏付ける結果が、学テの調査結果から伺えます。特に、生徒の自尊感情の高揚を目的のひとつにして始めたFTの効果が数字に表れているのが何よりもうれしいです。

しかし、課題も見えました。学習習慣や学習環境について問われた質問のなかの「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」の問いに対して、国・県の結果よりも長い時間にわたって利用していることが判明しました。また「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に対する肯定的な回答が国・県の結果よりも下回っていることから、余暇における携帯電話やスマートフォンの使い方について、改善する必要があります。

以上の結果を踏まえ、学校では、引き続きICT機器活用やFT手法を用いた授業改善に努めます。基礎学力の定着を図り、思考力・表現力の向上に向け、「主体的・対話的で深い学び」の推進に努めます。どうか各家庭におかれましては、少しでも勉強に集中できる学習環境を整え、学習習慣が身につくように見守っていただければ、と存じます。